

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	中野ここわ保育園
法人名	株式会社ディアローグ
法人所在地	東京都渋谷区渋谷3-8-12 渋谷第一生命ビルディング7階

1. 活動のテーマ

<テーマ>

当園が開園以来継続して行っている教育活動の中の【英語】を活かしながら【ことば】についての探究活動を実践し、非認知能力の向上等の保育内容の充実を図ります。

<テーマの設定理由>

当園では、開園当初より週に2回、外国人講師が訪れ、英語を使って子どもたちと関わってきました。レッスンでは、保育者も園児と共に生徒として学びながら、子どもたちに寄り添う形で進めています。こうした環境の中で、英語が園児にとって自然に親しめるものとなっていることから、日本語を含む「ことば」全体をテーマとして設定しました。

2. 活動スケジュール

【問いかけ】

0歳児クラスでは、カードや絵本などを見せて保育者が言葉を発して知らせ、英語の言葉に対し興味を持てるようにした。

1歳児クラスでは、日頃の遊びの中での会話や絵本の読み聞かせなどで「ことば」に触れていった。保育者が絵本を見ながら、色や動物などの日本語と英語の言葉を発することで、日本語と英語の発音の違いを感じていた。

2歳児クラスでは、絵本や日常生活のなかで子どもたちが目に触れたり、発見できるよう関わりや機会をもっていった。子どもたちが日本語と英語の意味が繋がりに理解できている姿があった。

幼児クラスは、保育者がことばについて問いかける。「クリストファー先生が話していることばは何ということばか知っている?」「どうしてことばが違うのかなあ。」と言うと、子どもたちは「クリストファー先生は、英語しか話せないんだよ。日本語は話せないんだよ。」と、日本語と英語ということばがあることは知っている様子だった。「Thank you」「Here you are」などの意味や使う場面を理解し、自ら使うことができていた。

【流れ】

英語講師が来園する日は、英語の絵本の読み聞かせを行い、保育者も子どもたちと一緒に参加します。また、自由遊びの時間には、保育者が日本語の絵本を読み聞かせる際に、英語講師も子どもたちと共に参加します。このように、大人も子どもも一緒に英語と日本語を通じ

【探究活動の実践と記録】英語活動の際は保育者が記録を行い、日本語活動の際は保育者に加えて英語講師も記録を担当しました。特に、子どもが英語を話す場面では、そのことばや音の聞き分けを英語講師が中心となって行いました。

*読み聞かせ・歌・手遊び歌を乳児クラス、幼児クラスともに日本語、英語で行いました。

【振り返りや共有】毎月末には英語講師と職員がブリーフィングを行い、探究活動の進捗を共有しました。その中で、次月のテーマを考え、環境設定や探究活動のスケジュールについて話し合いました。また、保育者同士は職員会議を通じて振り返りや情報共有を行いました。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【環境設定】

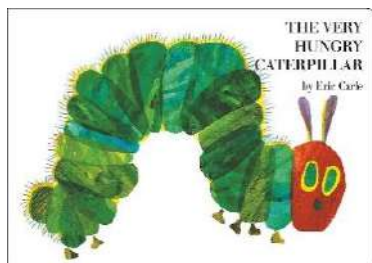
英語講師の来園日に探究活動を行うよう環境を設定しました。

【素材】

* 同じ作者による日本語と英語の絵本：エリック・カール作『はらぺこあおむし』と The Very Hungry Caterpillar

* 同じ手遊び歌の日本語版と英語版：「グーチョキパーでなにつくろう」と Rock, Scissors, Paper Finger Play

* 同じメロディを持つ日本語の歌と英語の歌：「きらきらぼし」と Twinkle, Twinkle, Little Star



4. 探究活動の実践・振り返り

<活動の内容>

①「はらぺこあおむし」日本語絵本の読み聞かせ

*乳児クラス：保育者が日本語の絵本「はらぺこあおむし」を読み聞かせした。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

曲に合わせて絵本を読むと、歌と一緒に歌いながら身体を左右に揺らし音楽を楽しんでいた。知っている果物を指さして名前を言う姿がみられた。英語講師や保育者も一緒に「りんご」や「いちご」など果物の名前を子どもの反応に合わせて口にしていた。



<振り返りによって得た先生の気づき>

日頃からよく読み、親しみのある絵本であり、英語絵本の前に日本語絵本をまず読んだことにより、内容がよく理解できたと思う。英語絵本を先に読んでも内容が分かったのだろうか？と感じた。

<活動の内容>

①"The very hungry caterpillar (はらぺこあおむし)"英語絵本の読み聞かせ

*乳児クラス：英語講師が英語の絵本「はらぺこあおむし」を読み聞かせした。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

日本語絵本と同じように「あおむし」のイラストに反応していた。英語講師の発音を真似して「one apple」などと言いながら数字を指で表した。英語講師が果物を指さしながら英語で発音することでイラストと一致し、子どもたちも英語や日本語などで果物の名前を言っていた。



<振り返りによって得た先生の気づき>

日本語絵本で話の内容や流れを覚えていた為、英語の絵本でも楽しく見ることができていた。イラストを見て「りんご」などと言葉にする子が多く、講師の英語の発音を聞くと同じように真似をして発音していた。繰り返し英語絵本を読んでいくと、英語の発音を覚え、イラストと一致していくのではないかと感じた。

<活動の内容>

②"Rock scissors paper finger play" (ぐーちょきぱーでなにつくろう) の英語の手遊び

* 幼児クラス：英語講師が「ぐーちょきぱーでなにつくろう」を歌う。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

最初は英語講師の後に続いて鼻歌を歌っていた。繰り返し歌っていくうちに「rock scissors paper」と歌う様子があった。チョキとチョキで「crab」を英語講師が作ると「〇〇くんのマークかな？」と手の形を見て予想しながら参加していた。「ice cream」という単語が聞こえると笑い声をあげながら「アイスクリームだって！」と言っていた。



<振り返りによって得た先生の気づき>

英語講師と一緒に歌いたいという気持ちをもちながら参加したため、鼻歌で歌っていたと考える。繰り返し歌ううちに歌詞が分かり笑顔で取り組むことができていた。日本語と同じ言い方の単語や、見たことのある手の形に反応する姿が見られてよかった。

<活動の内容>

②「ぐーちょきぱーでなにつくろう」の日本語手遊び

* 幼児クラス：保育者が「ぐーちょきぱーでなにつくろう」を歌う。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

保育者と一緒に大きな声で歌っていた。保育者がチョキとチョキで「カニ」を作ると、「クラブとカニか！」と納得した様子の子どももいた。



<振り返りによって得た先生の気づき>

聞き慣れたメロディーだったため、大きな声で自信をもって歌いながら手遊びができたと考える。英語講師がした手の形と同じものを見ると「さっきのcrabはカニだったんだ！」というような表情を見せていた。ここから、英語と日本語を一致させることができたと感じた。英語から日本語、日本語から英語と順番に行うことで「〇〇って意味と同じなんだ。」と理解が深まると考えた。

<活動の内容>

③「きらきらぼし」を日本語で歌う。

*乳児クラス：保育者が「きらきらぼし」を歌う。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

歌に合わせて身体を揺らしたり、手を叩いたりしながら楽しむ様子が見られた。保育者と一緒に手をキラキラさせながら笑顔を見せていた。言葉を話せる子どもは「きらきらひかるー」と歌うこともできていた。



<振り返りによって得た先生の気づき>

日頃から「きらきらぼし」を様々な場面で歌っていたことで、英語講師と一緒に楽しむことができたと感じる。保育者だけでなく英語講師のことを見ながら楽しんでいる姿も見られた為、信頼関係が築けていることにも気付くことができた。改めて日々の積み重ねの大切さを痛感した。

<活動の内容>

③"twinkle twinkle little star"（きらきらぼし）を英語で歌う

*乳児クラス：英語講師が"twinkle twinkle little star"を歌った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

曲のイントロがかかっただけで「きらきらぼし」と理解する子どもが多かった。両手を上げてキラキラさせる動作を楽しんで行っていた。



<振り返りによって得た先生の気づき>

日本語で歌った時と同じように、日頃から聞いている親しみのある音楽だったことで子どもたちは楽しんで歌を歌っていた。また、日本語と英語のどちらも同じ振り付けをしていたことで、子どもたちが同じ曲だと理解できたのではと感じた。